

総選挙で政権交代を、消費税減税を実現させるチャンス、!

オリンピックが8日に閉幕しました。この間、全国のコロナ感染者は爆発的に増加し、医療体制も逼迫。緊急事態宣言とまん延防止措置の自治体が増え、営業やくらしは日に日に厳しさを増しています。菅政権は野党によるコロナ感染対応のための臨時国会召集や予算委員会開催も拒否し、個人々の努力ではどうしようもないコロナ感染対策にまで「自己責任」論を持ち込んでいます。今こそ野党共闘の力を結集し、総選挙で政権交代と消費税5%減税を実現させましょう。



声があれば政治は変わる!

東京・六郷の会 7月11日

雑色駅前で25人の参加で宣伝行動。「オリンピック中止を!と組織委員会の相談室に抗議の電話した」と話す40代の男性や、若いころ組合運動をしていたという70代の男性がそれぞれ署名。チラシ120枚を配布し、12人から署名。



「消費税5%に戻せ!」とスタンディング

熊本の会 7月26日

熊本市下通り商店街で昼休み、各界連共催で20人の参加で宣伝とスタンディング行動。道行く人にアピールしました。70代の女性は「税率が10%になってから、やっぱり生活が苦しくなった。医療費負担が2割など腹がたっています。せめて5%にしてほしい」と。

個別訪問し、入会署名を呼びかけ

神奈川・富水栢山の会 7月

Oさんは、大事な選挙をむかえる今こそ、消費税をなくす会への参加者を広げねば・・・と入会署名用紙を持って個別訪問をし、玄関先で距離をおいて、消費税への思いや愚痴を伺い話し合い、3人の方が入会へ。

個人商店を訪問

「消費税はなくなった方がいい」

埼玉の会 7月16日

川口市の鳩ヶ谷地域の個人商店を訪問。店を開いて45年になる花屋は「花の値段は5%のときのままだが、売り上げは大きくダウン。花農家はもっと大変。オリンピックやってる場合じゃない」と。八百屋は開口一番「消費税はなくなった方がいい。売上減っても給料や家賃を払わなければならない」と。



「5%でなく0%にしてほしい」

埼玉・つかごしの会 7月24日

猛暑のなか蕨駅前で川口・芝地域連絡会と合同で署名・宣伝行動。若者は「5%でなく0%にしてほしい。消費税は社会保障に使うと言っていたのに違っている」と署名。「早く5%にしてほしい。その分、使えるから」と他の若者も署名。



バイトもなく、消費税負担は厳しい

富山の会 7月26日

富山市 CiC 前で各界連と共同で署名宣伝行動。19歳の学生は「コロナ禍でバイトもない。学費が高いうえに消費税10%負担は厳しい」と署名。75歳の女性は「医療費が高く、年金は下がる。消費税10%は高齢者泣かせ」と署名。